

東日本大震災の
被災地に行きボランティア
活動を行いました。

第六中学校2年生



えのき たくや
榎拓哉くん

もり かずま
森一真くん

しみず ちかし
清水睦司くん

いのう えねお
井上寧大くん

1月19日、武蔵境にある武蔵野スイングホールで「子鳩・けやき表彰」の表彰式が行われました。子どもたちが行った善行を表彰するもので、今回で23回目を迎えます。

平成24年度武蔵野市青少年善行表彰
「子鳩・けやき表彰」に選ばれました！

平成24年度 「子鳩・けやき表彰」他の受賞者

小内翔太くん(第五小学校6年生)
五小あそべえのもちつき大会にて4年前から火おこしなどのお手伝い

村田穂香さん・夏実さん・陸くん(桜野小学校6・4・1年生)
桜提児童館にいるうさぎの週末飼育

宮碓哲史くん(都立府中高等学校2年生)
土曜学習支援教室「チャレンジ・スタディ」のお手伝い

森美桜さん(第五小学校4年生)
テンミリオンハウスにて庭の草花の手入れや行事のお手伝い

「子鳩・けやき表彰」は、子どもたちの健やかな成長を願い、平成2年から始まりました。武蔵野市在住で編集者として活躍されていた故・清原美彌子さんの「スポーツや文化的事業などで活躍した人が公で表彰されるように、人の心が温まるような善意や思いやりのある行動に光をあてたい」との思いから寄付された基金をもとに行われています。対象は18歳以下

の青少年で、市民からの推薦をもとに選考委員会によって表彰が決まります。今回は3名の個人と2組のグループ、合計10名が選ばれました。誰かを助ける、支える、ともに笑顔となるような活動を行っている子どもたちの活動を「存じ」の方は、いつでも市役所児童青少年課 ☎0422-6011853まで情報をお寄せください。



市長や市議会の方などが大勢集まっていたので少し緊張しましたが、名前を呼ばれて表彰されてうれしかったです。



石を取り除く作業を行いました。

表彰者を代表して、第六中学校の4人に話を聞きました。

— 4人が「被災地にボランティアをしよう」と思っていたきっかけを教えてください。

清水 親の知人がボランティアをしようと言ってくれたので、参加しないかと言ってくれたので、みんなに声をかけました。僕は野球部の試合が近かったので行けないかもしれないと思っていたのですが、うまく日程が合って参加できて良かったです。

榎戸・森 僕たちは、清水くんから声をかけられて、すぐやってみようと思いました。

井上 声をかけられたとき、行きたいと思ったのですが、誰か知っている人が一緒に行ってくれたらいいなと思っていました。そうしたら小学校で同級生だった彼らも参加すると聞いたので、行くことに決めました。



突然、家に封書が届いて、ボランティアをしたことで表彰されると書いてあったのですごく驚きました。

陸前高田市に残されていた奇跡の一本松や、道路に乗り上げていた漁船などを見て被害の大きさを感じました。



ボランティアの人たちが集まる場所には外国から来た人たちもいて、皆さん、行動力があるなと感心しました。

— どんなボランティア活動をしたのですか。被災地を見た感想も教えてください。

清水 昨年の7月に1泊2日で岩手県に行きました。初日はバスで被災地を何カ所か見て回ったのですが、被害の大きさにぼう然としました。

井上 実際に自分の目で見る被災地の光景は、テレビで見るとは全然違ってびっくりしました。2日目に河川敷に行くと、花の苗を植える手伝いをしたのですが、土にはまだたくさん石が残っていたので、それをどけて土をならし、その後で花壇を囲う大きな石を配置して苗を植えていく作業をしました。

森 僕は気仙沼に祖母の家があつて、被災地に行くのは2回目でしたが、改めてひどい被害だと思いました。自分にも何かできないかなと思っていたので、ボランティア活動をするのができて良かったです。

榎戸 知らない人ばかりの中で作業するのは緊張しましたが、とにかく行つて作業できて良かったと思います。

— 表彰されてどう思いましたか。またボランティアを通じて感じたことを教えてください。

榎戸 表彰された実感はまだ全然湧いていないのですが、選ばれたことはと

てもうれいんです。これまで学校で行っているボランティア活動にあまり積極的に参加してこなかったのが、これを機にもっとボランティアをしていきたいと思つてます。

森 表彰されたことはうれしく思っています。ただ、ボランティアには行きませんが、まだちゃんとした支援活動ができていないようにも思っているので、今後はもっと本格的な活動もできたらいいなと考えています。

井上 初めてのボランティアだったので、表彰されたことに少し戸惑いもあります。今後機会があるなら、今回行った被災地以外の場所も自分の目で見に行きたいです。

清水 表彰されて良かったです。これを機に、ボランティアだけでなく、いろんな形でもっとみんなが喜ぶことをできたらいいなと思つてます。

中学生記者募集!!

あなたも『むさしのライフ A to Z』の中学生記者に挑戦してみませんか。武蔵野市内にまつわる素朴な疑問や知りたいことなどを折り込み八ガキに記入して、どんどん応募してください。友達と一緒に参加も歓迎です。